

- サッカー 全国高校サッカー選手権島根県大会 初優勝
- 卓球 第78回国民スポーツ大会卓球競技会
- 卓球 第58回全国ろうあ者体育大会・第56回卓球競技大会
- 陸上 JOCジュニアオリンピックカップ
第55回U16陸上競技大会
- 柔道 2024年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
中国地区予選会
- 柔道 第78回国民スポーツ大会柔道競技

- 男子バスケ・女子バスケ 県選手権大会
- 1年生遠足／2年生研修旅行／3年生遠足
- セブ島語学留学／研修旅行
- 令和6年度文化祭・芸術鑑賞
- 第15回島根県中学生イラストコンテスト開催
- 「税に関する高校生の作文」
益田税務署長賞受賞
- 福祉科だより ● 通信制課程ニュース

vol. 73

発行／明誠高等学校

2024年(令和6年)11月28日(木曜日) 第73号

<https://www.meisei-masuda.ed.jp/>





MEISEI High School SINCE 1957 サッカー 全国高校サッカー選手権鳥根県大会 初優勝

- 〇1 回戦 3-1 松江東
 〇2 回戦 2-0 三刀屋
 〇準々決勝 2-2 (4-2) 大社
 〇準決勝 1-0 開星
 〇決勝 5-1 益田東

今シーズンはベスト4の壁をなかなか破ることができなかったが、今大会に向け、チーム全体だけではなく、選手一人ひとりが一つの課題に向き合い、準備をしてきた。準々決勝では、大社高校と対戦した。格上の相手に先制を許すも、選手は動揺することなく、自分たちがやってきたことをやり続けた。その結果、勝利することができた。準決勝の開星戦では、激しい攻撃を全員で耐え抜き、勝つことができた。

決勝戦は、地元益田において、全校応援の後押しを受けて、益田東高校と地元対決となった。開始早々にPKを決められたが、大社戦同様選手たちは気持ちを切らすことなく、すくさまPKで同点にした。その後も間髪入れずに素晴らしいミドルシュートで逆転に成功した。その後も追加点を加え見事に5対1で選手権大会初優勝を果たすことができた。勝利の瞬間、ピッチとスタンドの両方が歓喜に沸いた。関係者の皆様、応援ありがとうございました。



MEISEI High School SINCE 1957 卓球 第78回国民スポーツ大会卓球競技会

令和6年10月4日から9日に佐賀県の基山町総合体育館で第78回国民スポーツ大会卓球競技会が開催された。少年女子団体に、監督 岸 真由先生、東ゆめさん、山田 凜さん、南雲日花さん、大崎陽歌里さん、成年女子の部には、監督、岸 卓臣先生、山崎唯愛さん(サンリツ) 郡山七海さん(広島日野自動車) 竹村 和さん(同志社大学) 榎芽さん(立命館大学)の卒業生チームが出場した。少年女子チームは厳しい中国ブロック予選を突破した勢いを維持し、鳥根県女子では初の5位入賞を果たした。鳥根県知事様、佐賀国スポに参加した生徒たち

MEISEI High School SINCE 1957 卓球 第58回全国ろうあ者体育大会・第56回卓球競技大会

令和6年9月13日から15日にALSOKぐんまアリーナで第58回全国ろうあ者体育大会・第56回卓球競技大会が開催された。山田萌心さんが出場し、女子シングルの部で見事優勝、来年東京で開催される夏季デフリンピック代表内定第一号となった。また全日本選手権一般の部へのデフジャパン推薦出場枠も獲得した。前回のデフリンピックブラジル大会では中学生ながら団体銀メダルを獲得し



女子シングルス部の優勝 山田萌心さん

MEISEI High School SINCE 1957 陸上 第55回U16陸上競技大会

10月18日〜20日まで三重県伊勢市でJOCジュニアオリンピックカップ第55回U16陸上競技大会が開催された。岩本瑛太さんが8月下旬に松江市で行われた鳥根県予選会に出場し、男子U16 1500mで優勝し、出場権を得た。9月に行われた記録会において1000mを10'90・2000mを22'09で走り良い調子で大会



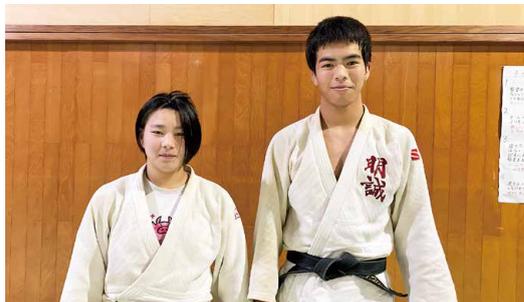
岩本瑛太さん

MEISEI High School SINCE 1957 柔道 2024年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会中国地区予選会

7月14日に鳥取県で開催されたジュニアの中国大会に、県予選で勝ち上がった2名が出場した。

〇男子 81キログ級 田原 初戦敗退
 〇女子 70キログ級 中本 3位

中本琴音さんは、準決勝まで勝ち上がったが、惜しくも敗退した。しかし3位決定戦では豪快な一本勝ちを収め、3位入賞を果たした。これにより中本さんは、1年生ながらも全国ジュニアの候補選手となった。



中本琴音さん 田原大樹さん

MEISEI High School SINCE 1957 柔道 第78回国民スポーツ大会 柔道競技

10月12〜14日に佐賀県で開催された国民スポーツ大会に、本校教員の佐々木・三浦両先生が出場した。8月に開催された中国ブロック大会において、成年男子はブロック優勝、女子は準優勝という結果で、これは鳥根県史上初となる快挙であった。佐々木先生は成年男子で大将(無差別級)として出場し、福岡県と対戦した。一本勝ちにより接戦を制したが二回戦目で神奈川県に敗れた。三浦先生の出場した女子は大阪府と対戦したが惜敗し、初戦敗退となった。

「今回の貴重な経験を指導に活かしていき、生徒とともに更なる技術向上に繋げていきたい。」と両先生は大会を振り返った。



MEISEI High School SINCE 1957 男子バスケット 県選手権 ベスト8!

〇1 回戦 91-52 益田
 〇2 回戦 73-69 矢上
 〇準々決勝 44-139 松江西
 今大会では、ベスト8に入ることができた。益田高校、矢上高校戦では、自チームの課題を見つけていくことができた。松江西高校には完敗だったが、よりレベルの高いバスケットを体感することができ、とてもいい経験をする事ができた。この経験をもちに、チーム一丸となって目標や課題を共有し、より高みを目指して頑張っていきたい。



MEISEI High School SINCE 1957 女子バスケット 県選手権大会

〇1 回戦 111-33 益田東
 〇2 回戦 45-72 松徳学院
 11月1日〜3日まで、カミアリーナで行われた県選手権大会に参加した。明誠女子バスケット部は「全国出場」を合言葉に、チーム一丸となって全国を目指し、ここまで準備をしてきた。今チームのこれまでは苦しい状況が多かったが、3年生は常にプラス思考だった。結果は第一シード校に敗戦したが、最後まで戦い切ることができたこのチームを誇りに思う。



1年生
遠足

待ちに待った初の遠足!

10月1日(火)に1年生は山口県油谷青少年自然の家への遠足は『静と動』を感じ普段体験できない事を目的として実施した。

『静』ではお寺の住職さんに来て頂き座禅を約1時間実施した。普段の生活では感じ取れない空気の流れや音を感じながら落ち着いた空間で自分と向き合った。

『動』では近くの港でカッターの訓練を実施した。約20

名乗るボートを皆で力を合わせて漕いだ。指導員からは海に出ることの注意を生徒へ伝えうえで、一生懸命楽しく体験を終えた。

様々なものに触れ、また校外学習ということで団体行動の大切さなど、多くのことを学んだ1年生はこの経験を活かし人として立派に成長していつてくれることだろう。



2年生
研修旅行

東京研修旅行

10月1日から10月3日の3日間、東京研修旅行を実施した。コロナ禍以降、5年ぶりの東京研修旅行実施となった。

1日目は、東京ディズニーランド。閉園ぎりぎりまでパレードや花火を楽しんだ。

朝から好天に恵まれた2日目は、お楽しみ自主研修。東京を満喫した。その後は、劇団四季のロングラン公演「ライオンキング」を鑑賞。

3日目は、益田市と縁の深い川崎市にある企業訪問を3グループに分かれて見学した。昼食は横浜中華街で北京ダックを食し、羽田空港に向かった。このような行程で2泊3日の東京研修旅行は無事に終了し、予定通りの便で帰宅となった。研修旅行中の生徒たちは終始笑顔で、とても充実している様子であった。



3年生
遠足

宮島遠足

10月1日に3年生で宮島遠足へ参加した。前期期末試験も終わり、秋期休業に入る前ということもあり、リラックとした雰囲気を楽しむことができたように思う。宮島ではたくさん観光客がおられ、とても賑わっていた。広島産の牡蠣や、もみじ饅頭など美味しいものがたくさんあり、楽しい時間を過ごせた。プライベートでも行ったことのある人もたくさんいたと思う

が、学校の遠足として行く宮島もいろいろのだと感じた。



セブ島 語学留学

本校2年生4名が8月2日から9月8日までの約2週間、セブ島の語学学校「EV」での語学留学を実施した。本校はもともと、セブ島語学留学の制度があったが、コロナ禍においては留学も一時的にストップしていた。そんな中、今年の3月にセブ島語学留学を再開することができ、今回も無事に留学することができた。今回4名が留学した「EV」という語学学校には、世界各国から英語学習者が留学に来ている。わかる範囲だけでも、「韓国、中国、台湾、サウジアラビア」など様々である。英語力を向上させ

ることが留学のメインテーマではあるが、もう一方で自分自身とは違う文化・母語・育ってきた環境を持つ人々との出会いも留学の醍醐味だと思う。帰国した生徒たちは口をそろえて、「本当に楽しかった・外国人の友達がたくさんできた・常に英語に触れることができた」と感想を述べており、とても満足している様子だった。本校では、今後も生徒が海外に興味を持ち、世界に一步踏み出す機会を提供していきたいと考えている。

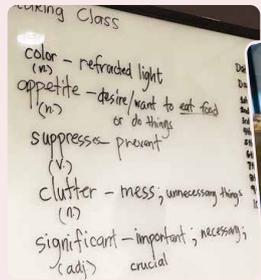


EV academy



学内カフェ

屋外シアター



授業中の様子



学内プール



留学した4名の生徒たち

セブ島 研修旅行

10月2日から10月6日までの4泊5日でセブ島研修旅行を実施した。この研修は、「海外に一步踏み出す・国際理解を深める・英語力を向上させる」という目的のもと、昨年より始まったセブ島体験ツアーのようなものである。今年も2名の生徒(3年生)が研修旅行に参加した。生徒は2名とも海外は初めてで、パスポートも初めて取得した。もちろん

ん入国審査も初めてのため、日本出国時は、「何を聞かれるかネットで調べました。答え方もわかります」と準備万端だった。

セブ島では、①語学学校の見学・体験授業②墓地スラムでのボランティア活動③アイランドホッピング(無人島でシュノーケリング)④セブ島観光を行った。初めてのセブ島で緊張していた生徒であったが、「価値観や世界観が変わった。世界と日本の違いをまざまざと感じた。日本の生活環境は恵まれていると再認識した。」と帰国後、留学担当教員に感想を伝えていた。今後もセブ島研修旅行に多くの生徒が参加してくれることを期待している。



セブ島の街並み

ボランティア活動

屋台料理を食べる生徒

島での記念写真

令和6年度文化祭・芸術鑑賞

10月29日から10月31日の3日間で、令和6年度文化祭を行った。初日は、セブ島語学留学・研修旅行の報告会や文化部発表(吹奏楽部・軽音楽部)、生徒会主催の有志企画を行った。2日目は模擬店を開催し、1年生から3年生まで各クラスがそれぞれ創意工夫をして模擬店を盛り上げた。3日目は、グラントワにて校内弁論大会と芸術鑑賞を行った。今年の芸術鑑賞は、明誠高校出身でシンガーソングライターとして活動されている「尾上明範さん」の特別ライブを鑑賞した。ライブでは故郷である益田を舞台にした曲や明誠高校校歌のアレンジ版など素晴らしい楽曲を披露していただいた。3日間の文化祭では生徒たちの笑顔をたくさん見ることができた。今後も笑顔が絶えない行事を計画していきたい。

軽音楽部の発表



吹奏楽部の発表



尾上明範さん



弁論を発表する様子



セブ島留学報告会



会場の様子



第15回 島根県中学生イラストコンテスト 開催

11月4日、5日に第15回島根県中学生イラストコンテスト展覧会が島根県芸術文化センター「グラントワ」多目的ギャラリーにて開かれた。今年は島根県内およびその近隣の中学校から222点の絵や創作性のある作品の応募があった。今年に入賞者の表彰式もあり、表彰状の授与と副賞の贈呈が行われた。

第15回 今年度作品より (特賞・金賞作品)



表彰式の様子

特賞作品「私の秘密基地」
椿晴香さん
(島根大学教育学部附属義務教育学校9年)



金賞作品「金魚と緒に世界征服?」
南場聖来さん
(松江市立東出雲中学校3年)



金賞作品「花明り」
小川 皆美さん
(江津市立江津中学校3年)



金賞作品「夏の思ひ出」
大野 史織さん
(島根大学教育学部附属義務教育学校9年)

「税に関する高校生の作文」 益田税務署長賞受賞

本校2年生の齋木柊哉さんが益田税務署長賞に選ばれた。今回2年生の学校設定科目小論文の中で作文の指導を行った。今まで税金について詳しく考えて来なかった生徒も税金がなくなったら、どうなるのかを自分で調べ、今受けているサービスが受けられなくなることを知り、改めて、税金の意義について知ることが出来る良い機会になった。齋木さんは自分の病気の治療に税金が使われたことに感謝する内容で、自分の言葉でしっかり書かれていた。



福祉科だより

福祉科×益田市医師会くにさき苑 コラボ授業

本校福祉科の授業の一環で、実践的な介護技術の学びを深めようことを目的としたコラボ授業を行った。ベッドメイキングやポータブルトイレへの移乗介助の技術等を益田市医師会で働いておられる技能実習生の皆さんや職員の方々からポイントとなる部分を教えていただいた。コラボ授業では、生徒たちが学びを深めることができ、良い経験になったと思う。

今後も、様々な取り組みを通じて、専門知識や技術の向上を目指していきたい。



新任の先生の紹介

着任のご挨拶



松村 志穂
この度ご縁をいただき、約8年ぶりに明誠高校で勤務するようになりました。

以前は全日制課程で国語を指導しておりましたが、この度は通信制課程で勤務いたします。
この8年は教育から離れていたもので、不安や戸惑う気持ちもありますが、一日も早く慣れてこれまでの経験を活かしながらお役に立てればと思いますので、よろしくお願いたします。

通信制課程ニュース

TSUSHIN NEWS

